

# 「リテールテックJAPAN 2018」日立グループブースレポート 共に創る。豊かな社会を支えるスマートなバリューチェーン。



日立グループは、2018年3月6日(火)～9日(金)に東京ビッグサイトで開催された第34回流通情報システム総合展「リテールテックJAPAN 2018」に出展しました。

今回のテーマは「共に創る。豊かな社会を支えるスマートなバリューチェーン。」。いま小売業では、高度な分析で消費者ニーズを的確に捉え、メーカー・卸は人々の日々の暮らしや嗜好に合わせ、必要なものを必要なときに供給することが求められています。

この課題に対して日立は、AI※1や先進のアナリティクス、ロボティクス技術などを活用し、全体が最適化されたスマートなバリューチェーンで豊かな社会を実現したいと考えています。

コンセプトステージおよび展示では、小売り・卸・物流それぞれのお客さまの課題解決に貢献するサービスやソリューションをご紹介します。お客さまとの協創で売り上げ・

需要予測・生産性などを向上させた事例や、指静脈認証技術と画像解析技術によって消費者とつながる未来型店舗の姿に、来場者の関心が集まりました。

※1 Artificial Intelligence



## ステージ映像〈共に創る。豊かな社会を支えるスマートなバリューチェーン。〉

マーケティングにおけるAI活用のユースケースを、ドラマ仕立てで分かりやすく解説します。AIによる売り上げ・お客さま単価向上や需要予測精度の改善および物流倉庫の生産性改善といったバリューチェーンの価値を最大化する協創の力をご覧ください。

リテールテックJAPAN 2018 ステージ映像  
(製造業・流通業向けソリューションサイト)

▶▶▶ <http://www.hitachi.co.jp/retail/ht612/>

## バリューチェーン



## 顧客ロイヤルティ向上サービス / 需要予測

日立はマーケティング施策の立案や需要予測をAIで支援するサービスを提供しています。その中でも販促シナリオの設計を自動化する「マーケティングオートメーションサービス」は、マーケティング人材不足を解消しながら効果的な施策の立案・実行といったPDCAサイクルを効率よく回すことが可能です。また欠品を防止するために多めに在庫を抱える一方で、多くの廃棄ロス、転売差損が生じている発注業務において、AIを活用した精度の高い需要予測値と発注量提示による在庫最適化を支援するソリューションを紹介しました。



▶▶▶ <http://www.hitachi.co.jp/products/it/bigdata/Insol/>  
 ▶▶▶ <http://www.hitachi.co.jp/products/it/it-pf/mag/ryoko/rtj2018/>

## 滞在時間連動型特典サービス

滞在時間連動型特典サービスは、企業や店舗が消費者に提供するスマートフォン向けアプリケーションと連携し、来場者の「待ち」(滞在時間)を「価値」(特典)に変換するサービス基盤です。例えば、商業施設・空港などで、

設定した時間がたつごとに特典を配布。滞在時間が長くなるほど特典が増えるため、長時間の滞在をお客さまに楽しんでもらうことが可能で、売り上げ向上にも貢献します。

▶▶▶ <http://www.hitachi-solutions.co.jp/machikachi/>

## ロジスティクス



### 温度検知インク活用によるコールドチェーン管理(参考出展)

生産者から消費者までの安全・安心なコールドチェーン管理をめざすため、商品の温度管理の異常を色変化で検知するインクを開発。輸送中の温度変化で二次元

バーコード付きラベルの色が段階的に変化、再び品質管理温度内に戻しても元の色に戻らないため、センサー利用に比べ低コストな温度管理を実現します。

### 統合物流管理システム「HITLUSTER」×AI 診断適用(参考出展)

統合物流管理システム「HITLUSTER」(WMS※2)からのデータと日立の人工知能であるHitachi AI Technology/Hを連携して、システムに蓄積されているデータを分析し効率的な在庫配置を出力することで倉庫

内でのピッキングにおける作業効率が従来に比べ平均約7%向上しました。日立は物流センターの運用改善と効率化施策をAIで支援していきます。

※2 Warehouse Management System

## 本部業務効率化



### 環境情報管理サービス「EcoAssist-Enterprise-Light」

### 統合エネルギー・設備マネジメントサービス「EMilia」

日立のエネルギーソリューションは店舗・オフィス・倉庫など多拠点の各種設備データの収集を行い、IoT基盤で

分析。省エネ・データ活用を支援します。また、行政報告業務の軽量化や保守効率化やお客さまのエネルギー戦略とコスト削減に貢献します。

▶▶▶ [http://www.hitachi.co.jp/products/infrastructure/product\\_site/ecoassist/solution/ecoassist\\_fitness/](http://www.hitachi.co.jp/products/infrastructure/product_site/ecoassist/solution/ecoassist_fitness/)  
▶▶▶ <http://www.hitachi.co.jp/emilia/>

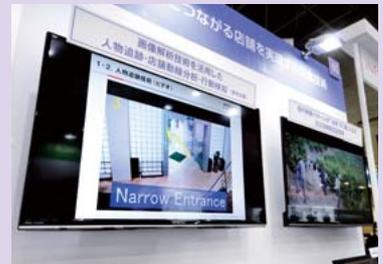
## 消費者とつながる店舗 (参考出展)



消費者とバリューチェーンが繋がれば、新たな価値が生まれ、顧客体験価値の向上も図れます。会場では、日立の指静脈認証技術と画像解析技術を活用し、効率化された店舗と消費者とのつながりを紹介。手ぶらで来店したお客さまが入り口でウォークスルー指静脈認証装置に指をかざしてチェックインすれば、モニターに過去の購買履歴に応じたオススメ商品をスピーディーに表示。一人ひとりの店舗内動線はカメラで把握し、ライフスタイルやマーケティングの分析に活用します。

ライフスタイルや消費期限に合わせて、価格を動的に

変えるダイナミックプライシングで廃棄ロスの低減に貢献するコンセプトも紹介。さらには、あらかじめ個人ごとに異なる指静脈パターンにチャージしたマネーを使用した決済イメージも紹介。専用装置だけでなくスマートフォンの汎用カメラを使って指静脈認証を実現する技術も紹介し、来場者に効率化された未来型店舗のイメージを体感してもらいました。



### 日立指静脈認証装置 H-1 (専用装置)

指静脈認証を活用し、勤怠管理といった従業員向けの本人確認やお客さまの来店確認、チェックインに活用で

きます。将来的には電子マネーの決済端末の本人証明の鍵としても期待されています。

お問い合わせ先

(株)日立製作所 産業・流通ビジネスユニット  
<http://www.hitachi.co.jp/mononare/>